

座長へのご案内

口演座長の方へ

ご担当セッションの開始15分前までに、会場右手前方の次座長席にお越しください。
時間になりましたらセッションを開始してください。

口演演者へのご案内

1. 発表時間

特別講演	40分
Meet the Professor	発表45分、質疑応答15分
特別シンポジウム	座長一任
The KES-JES Joint Symposium	発表12分、質疑応答8分
シンポジウム	座長一任
JES We Can	座長一任
クリニカルアワー	座長一任
教育講演	発表30分
教育セミナー	30分
YECシンポジウム	座長一任
若手臨床内分泌医育成委員会企画 第1部 Clinical Endocrinology KO Rounds	発表3分
若手臨床内分泌医育成委員会企画 第2部 エキスパートによる内分泌セミナー	発表10分、質疑応答5分
CPC/症例検討	座長一任
学会賞表彰式・受賞講演	30分
マイスター賞表彰式・受賞講演	30分
Distinguished Endocrinologist Award 表彰式・受賞講演	30分
研究奨励賞受賞講演	15分
若手研究奨励賞（YIA）審査講演	発表7分、質疑応答5分
一般演題（口演）	発表7分、質疑応答3分
一般演題（ポスター）	発表5分

2. 待機について

次演者は、前演者が登壇されたら会場左手前方の次演者席で待機してください。

3. 発表データ作成時の注意

発表はすべてPCにてお願いします。

OS	作成ソフト	データ預かり	PC持込み
Windows	PowerPoint2007以降	○	○
	上記以外のソフト	×	○
Macintosh		×	○

【Windows】

- 1) USBフラッシュメモリのみの対応とさせていただきます。CD-R、CD-RW、DVD-R、MOの対応はございません。
- 2) 発表データはUSBフラッシュメモリに保存した後、別のPCにコピーして正常に再生されることをご確認ください。
- 3) USBフラッシュメモリのウイルスチェックを事前に行ってください。
- 4) フォントは文字化けを防ぐため下記のフォントにて作成してください。
日本語……MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英 語……Arial、Century
- 5) 動画データをご利用の場合は、必ず動画データが再生するノートパソコンをお持込みください。

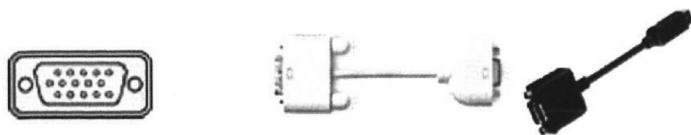
【Macintosh】

- 1) ご自身のノートPCをご持参ください。CD-ROM、USBフラッシュメモリでのデータ持込みはできません。
- 2) データはMicrosoft PowerPointで作成してください。

4. PC持込みの場合の注意

WindowsおよびMacintosh ノートPCをお持込みの方は下記の点にご注意ください。

- 1) コンセント用電源アダプターを必ずご持参ください。
- 2) PCセンターではD-sub15ピン（ミニ）のケーブルをご用意いたします。
一部のノートPCでは本体付属（別売り）のコネクターが必要な場合がありますので、その際は必ずお持ちください。
※HDMIやMini Display PortなどD-sub15ピン以外の接続はお受けできません。



D-sub15ピン（ミニ）

付属外部出力 コネクター 例

- 3) 学会側が準備したプロジェクターに接続できない場合に備え、当日はWindows版またはMacintosh版Microsoft PowerPointで作成したバックアップデータをご持参ください。
- 4) 外部ディスプレイに出力可能であるか、特に動画が多用された大容量データの場合、必ず事前に確認してください。
- 5) スクリーンセーバー、ウイルスチェック、並びに省電力設定（Macintoshの場合はホットコーナーも）はあらかじめ解除しておいてください。
- 6) セッションの進行に影響が出るため、発表者ツールは利用できません。
発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。会場でのプリントアウトは対応していません。

5. PC受付、発表データ

- 1) PC受付は、別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 1F に設置いたします。
ご発表時間の1時間前まで（朝の発表者は発表の30分前まで）に、必ずPC受付にてデータの提出、および試写を行ってください。

PC受付時間

日	程	受付時間
第1日目	6月2日(木)	7:00～17:30
第2日目	6月3日(金)	7:30～17:30
第3日目	6月4日(土)	7:00～13:30

※第1日目の午後より、第2日目・第3日目にご発表される演者の受付も可能です。

※早朝のセッション演者は前日に受付をお願いいたします。

- 2) PC受付にて試写された後、オペレーターがデータをお預かりいたします。メディア本体はその場で返却いたしますが、発表時の不測の事態に備えて、発表データが入ったメディアは発表会場へご持参いただくことをお勧めいたします。
- 3) お預かりしたデータは、学会終了後に事務局立会いのもと、オペレーターが一括消去いたします。
- 4) PCをお持込みされる場合は、PC受付で受付後、演者ご自身でPCを口演会場内のオペレーター卓（会場内左手前方）へお持ちください。お預かりしたPCはセッション終了後、オペレーター卓でご返却いたします。

利益相反

産学連携活動に伴い発生する個人が取得する利益と、学術機関等に所属して行う公正な教育・研究における責任とが衝突・相反する状態を「利益相反（conflict of interest、COI）」と呼びますが、この利益相反状態を学術団体が組織として適切に管理していくことが、産学連携活動を推進する上で必須となってきました。

日本内科系関連学会が合同して、「臨床研究の利益相反（COI）に関する共通指針」を制定し、日本内科学会では2010年4月より施行されています。日本内分泌学会でも、同様の「共通指針」及び「共通指針細則」を制定し2011年4月1日から実施いたしました。

本学術総会でのご発表にあたって、演題登録時に、演題が臨床研究である場合、過去一年間の発表内容に関連する企業や利益を目的とする団体にかかわる利益相反状態について登録していただきましたが、この利益相反状態を発表時にスライドの最初、あるいはポスターの最後に開示していただくことになります（開示の形式は下記をご覧ください）。

開示が必要な利益相反状態は、特定の1企業・団体からの年間の役員・顧問職報酬、株の利益、特許使用料の報酬が100万円以上、50万円以上の講演料、原稿料、100万円以上の研究費などを指しますが、詳細は日本内分泌学会ホームページ内の共通指針細則（http://www.j-endo.jp/modules/about/index.php?content_id=8）をご参照ください。開示すべき利益相反が「なし」の場合も、その旨記載が必要となりますので、ご注意ください。

下記のスライド例にてCOI開示（様式1-A）
学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態（過去3年間）がない時



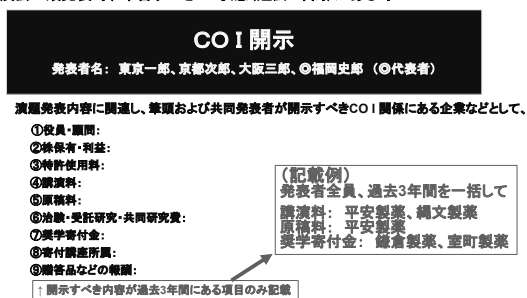
演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべき
COI 関係にある企業などはありません。

下記のポスター例にてCOI開示（様式1-B）
学術講演会ポスター発表時、申告すべきCOI状態（過去3年間）がない時



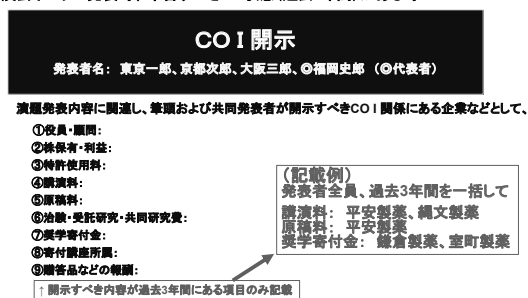
演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべき
COI 関係にある企業などはありません。

下記のスライド例にてCOI開示（様式1-A）
学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態（過去3年間）がある時



口演発表時の例

下記のポスター例にてCOI開示（様式1-B）
学術講演会ポスター発表時、申告すべきCOI状態（過去3年間）がある時



ポスター発表時の例